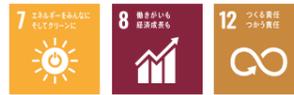


ベルト・ゴム製品事業 [工業資材事業部]

主なSDGs目標



時代の大変革「パラダイム SHIFT」に挑む
「深化と成長」の戦略。
さらにグローバルに、そして新たなる市場へ。

取締役
工業資材事業部長
またむら せいいち
北村 精一



2021年度のセグメント業績



当連結会計年度より2021年4月1日付けの組織変更にもなう管理区分の見直しを行い、従来「その他産業用製品事業」に含めていた感温性粘着テープおよびセンサ製品を「ベルト・ゴム製品事業」に変更しています。なお、前会計年度の売上およびセグメント利益については変更後の区分により作成しています。

2021年度の振り返り

主力のベルト製品は、国内・海外市場ともに大きく業績を伸ばし、一昨年のコロナ禍でのマイナスをリカバリーできた1年でした。特に、eコマース関連で物流業界の設備投資が増加し、コンベアベルト等の需要が大きく伸びました。ゴム製品では工作機械向けが回復しました。また半導体業界の好調により、感温性粘着テープの販売も大きく伸びました。その結果、国内外で過去最高の業績となりました。一方で、原材料の調達難や価格の高騰、物流網の混乱等サプライチェーンの課題が顕在化し、その対応に追われた1年でもありました。

SWOT分析

<h4>競争優位性</h4> <p>材料技術やアプリケーション技術に裏づけられた顧客対応力。顧客との対話を通じたソリューション営業とカスタマイズ製品開発力。</p>	<h4>弱み・課題</h4> <p>グローバル市場におけるマーケティングチャンネル(販売、流通、コミュニケーション)のさらなる拡大が求められる。</p>
<h4>機会</h4> <p>主要業界の急激な回復、物流業界、電子部品業界の大きな伸長が見られた。</p>	<h4>脅威</h4> <p>急激な需要増にともない、原材料の調達不足、価格の高騰となったが実需との乖離による反動には注意が必要。</p>

2030年へ向けた事業戦略概要

- #### 1. 新製品開発の推進

省エネ、長寿命に加えて環境配慮を意識した新製品開発を積極的に進めていきます。
- #### 2. 海外市場の深耕

海外拠点の生産および販売網の拡大を更に進めていきます。また新型コロナウイルスで停滞していたグローバル人材の育成を再開します。
- #### 3. DX化の推進

生産現場でのペーパーレス化や間接部門の入力業務の自動化による効率化を進めることで利益向上を図るほか、カタログを含めた営業ツールをデジタル化することで営業活動の効率化を推進します。

主力製品



ポリベルト・ポリスプリント (伝動・搬送用ベルト) | ニューライトグリップ (搬送用樹脂ベルト) | ECシリーズ (カーブコンベヤ) | フィンガーフレックス (橋梁用大型鋼製ジョイント) | 感温性粘着テープ製品 | センサ製品

環境配慮型製品でSDGsに貢献

ニッタグループにおいては、2030年に温室効果ガスの排出を2013年比で46%削減を目指す中、製造プロセスでの削減に加え、省エネ製品でお客様および社会に貢献することを推進しています。ベルト製品では、低張力での使用によるモーターへの負荷を軽減した「省電力ベルト」の開発や耐環境性をさらに改良した金融機器向けベルトの開発を進めています。感温性粘着テープ製品は、温度によって粘着力が変化する可逆性をもっており、繰り返し使用が可能であるため、省資源、省コストに貢献します。

「伝動」→「搬送」による物流市場への展開

eコマース関連で物流業界の大型投資が相次ぐ中、ベルト製品においてはこれまでの主力製品であった「伝動用ベルト」に加え、「搬送用ベルト」の需要が急速に拡大しています。物流市場が拡大することで用途やニーズも多様化し、市場要求に対応できる搬送用ベルトの開発を行っています。また、様々な梱包形態の搬送物を安定して搬送できるベルトカーブコンベヤを提供しています。

グローバルビジネスのさらなる挑戦

アメリカ大手企業へのベルト販売の成功事例を活かし、各国大手のグローバル企業への販売を積極的に展開しています。設備投資により生産能力を強化し価格競争力を強化しながら、海外拠点が連携することで、各国に提供する品質やサービスの均一化を実現しました。製販技一体となった活動を積み重ねることで顧客からの信頼を獲得しています。

TOPICS

中長期経営計画「SHIFT2030」達成に向けた事業戦略

次世代へつなぐ:「伝える・運ぶ」「架ける・支える」をBreakthrough

【今後の成長戦略】

既存事業の深化と新規事業の探索を推進。ベルト・ゴム製品事業としてはグローバル市場における「Best in Class」を目指します。ベルト製品のグローバルスタンダードの追求に加え、軽搬送領域へリソースを投入。またゴム製および鋼製ジョイントのラインナップの拡充を図ります。感温性粘着テープは電子部品用途に加え新たな用途開発を進めています。センサ製品は、新製品「プレリアi」の販売を開始し圧力分布の見える化を、より簡単に、よりリーズナブルに行えるようになりました。また、独自の技術で炭素繊維の表面にカーボンナノチューブをナノレベルで付着させ複合化させた新材料「Namd™」の生産・販売にリソースを投入し、本格的な事業化を推進していきます。

2022年度の事業部目標数値

